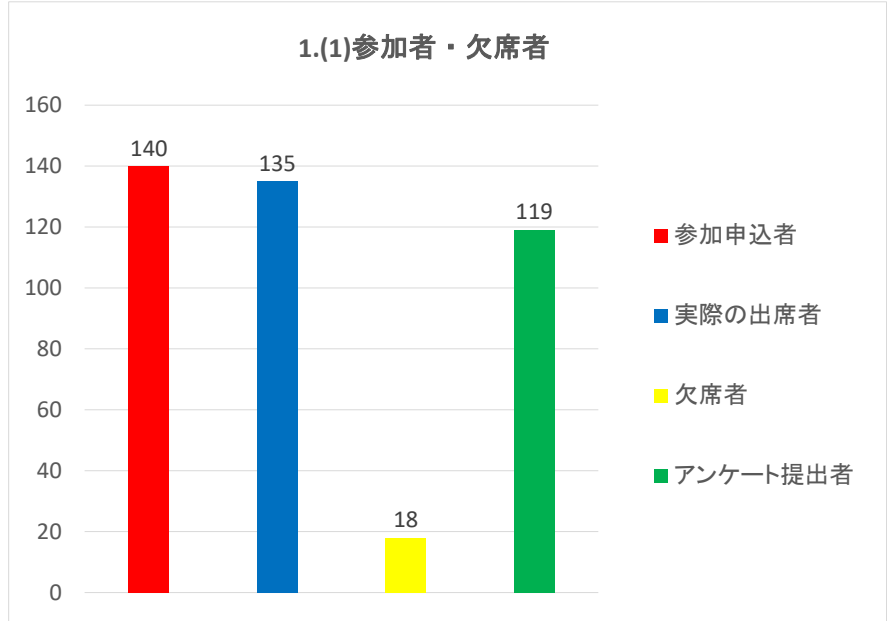


令和元年度 成年後見制度研修会

1. 参加者の割合

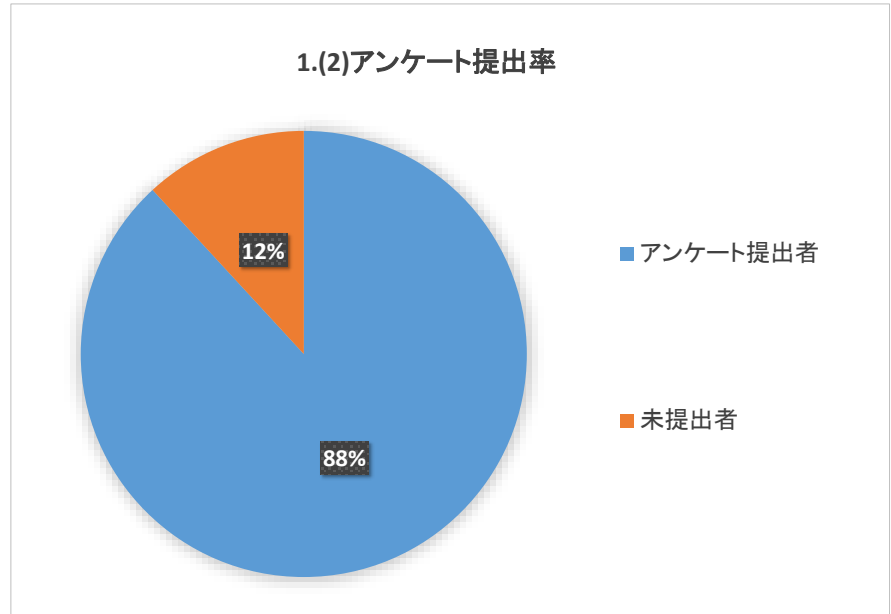
(1)参加者・欠席者

参加申込者	140
実際の出席者	135
欠席者	18
アンケート提出者	119



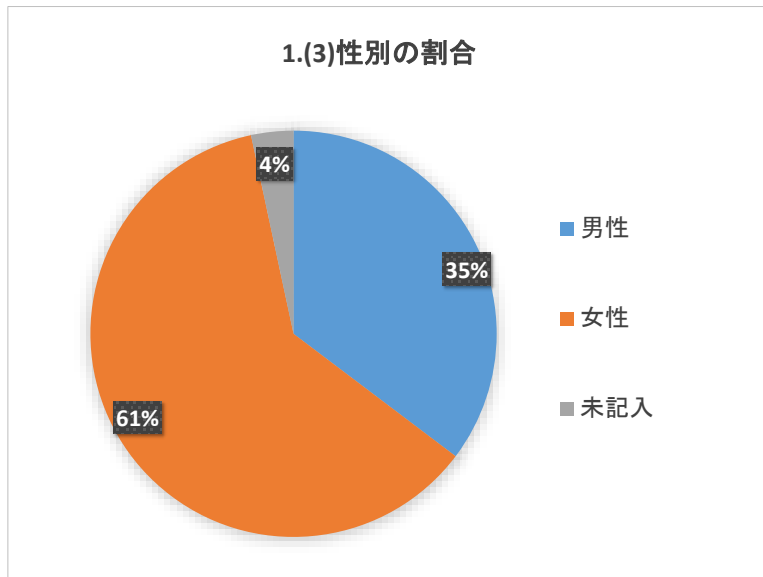
(2)アンケート提出率

出席者	135
アンケート提出者	119
未提出者	16
提出率	88.1%



(3)性別の割合

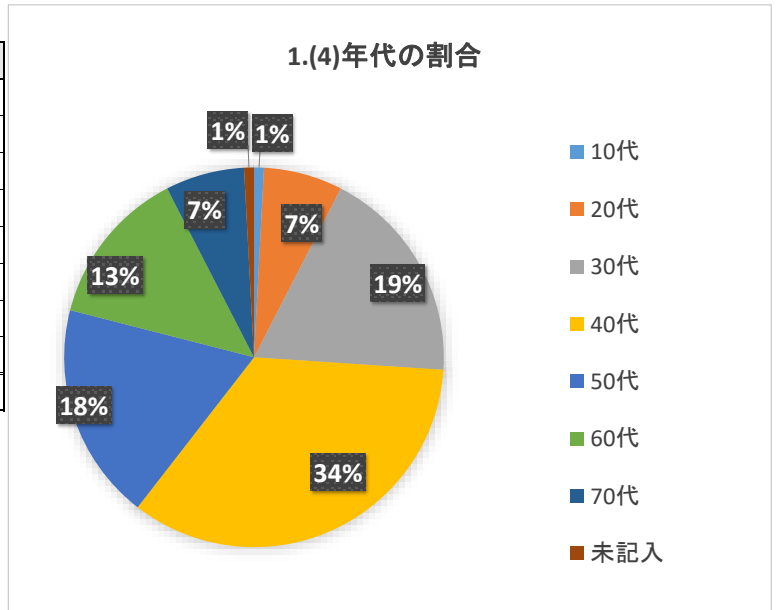
	回答数	回答率
男性	42	35.3%
女性	73	61.3%
未記入	4	3.4%
計	119	100.0%



令和元年度 成年後見制度研修会

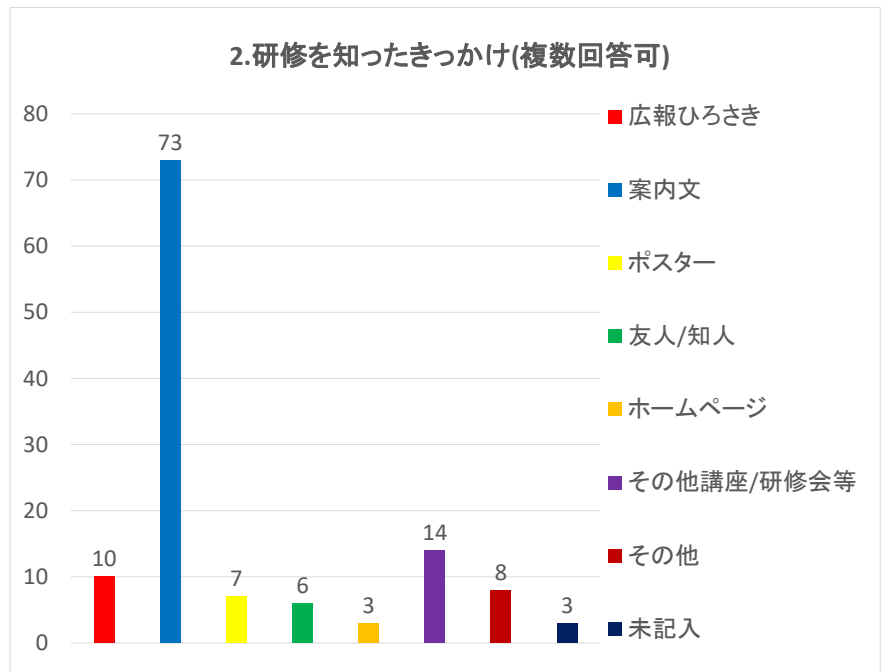
1. (4)年代の割合

	回答数	回答率
10代	1	0.8%
20代	8	6.7%
30代	22	18.5%
40代	41	34.5%
50代	22	18.5%
60代	16	13.4%
70代	8	6.7%
未記入	1	0.8%
計	119	100.0%



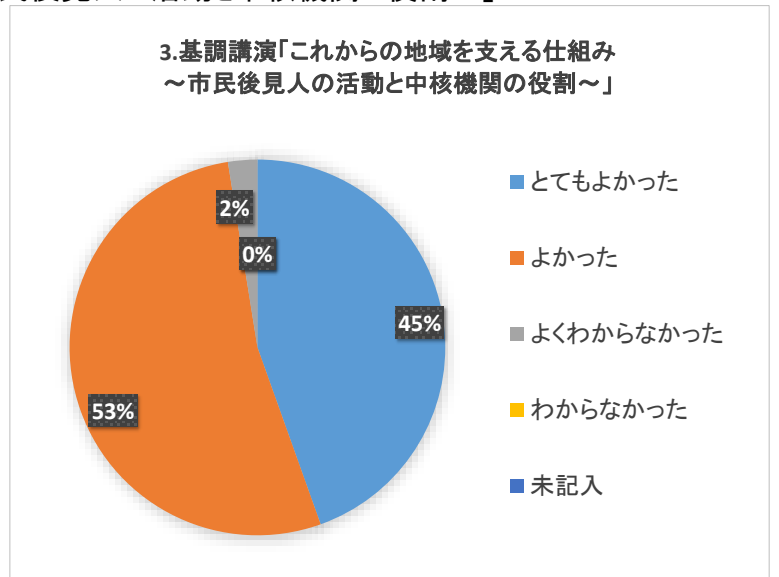
2. 研修を知ったきっかけ(複数回答可)

	回答数
広報ひろさき	10
案内文	73
ポスター	7
友人/知人	6
ホームページ	3
その他講座/研修会等	14
その他	8
未記入	3



3. 基調講演「これからの地域を支える仕組み～市民後見人の活動と中核機関の役割～」

	回答数	回答率
とてもよかった	53	44.5%
よかった	63	52.9%
よくわからなかった	3	2.5%
わからなかった	0	0.0%
未記入	0	0.0%
計	119	100.0%



令和元年度 成年後見制度研修会

3. 基調講演「これからの地域を支える仕組み～市民後見人の活動と中核機関の役割～」

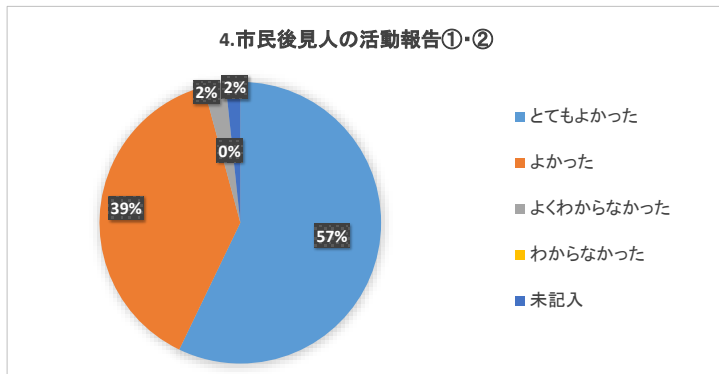
感想・意見等

これからの地域の姿を想定すること、後見制度の受け皿となる人材育成・確保は急務だと思いました。市民後見の育成その他講座はまだしないのでしょうか。
組織同士の連携がどこまで進んでいるのか、一般人は知らないと思う。もっと積極的に研修会を宣伝し、一般人が気軽に参加できるようにアピールすべきだと思う。
本人の意思決定支援について本人を支えるチームが重要だと思った。実現が困難でも本人の考え方を聞き、一緒になって考えるようにして支援していきたい。
今回のような研修会を開催して欲しい。
市民後見人に関する現状や水島先生の取り組み、活動の様子がわかりやすく、また意思決定支援の大切さを実感しました。
意思決定支援の部分で、聞き手の力量にかかっていると書いてあり、知識をしっかりと身につけたいと思った。
本人情報シートの活用が申立の前だけでなく、審判後も活用され、時代に合った体制をとっていること、チームによる意思決定支援の大切さを感じました。
話が難しかった。
聞きやすかったです。
課題が多く、難しいと思いました。
ご本人の意思決定支援について考え直す機会となりました。支援する力が大事だともわかりました。ありがとうございました。
意思決定支援を改めて学べて、今後の後見人活動や相談支援に活かしていきたいと思いました。時々原点回帰は必要です。このような機会を設けて頂き、ありがとうございます。
テキスト25頁の支援者後見人として本人に寄り添う、本人の話を聴く、本人の意思の根元を聴くという姿勢に改めて、後見人が利用者と向き合う基本的な考え方であると反省しました。
利用促進が必要とされていることはもちろんですが、意思決定支援が大切だと、改めて思いました。成年後見制度の費用にかかる費用や詳細を把握できてよかったです。
現在に至る過程が再確認できた一方で今後の地域でのリソース確保に不安がある。
意思決定の考え方について知ることができてよかったです。
来てよかったです。
ためになりました。今後に生かしていきたいと思います。
意思決定支援について勉強したいと思っていたところだったので、すごくわかりやすくご説明いただきました。
来年度より中核機関での体制が開始されるのでその動きについていけるように勉強していきたいです。
大枠は理解できたように感じます。時間があればもう少し詳しい説明が欲しかったです。
全体的にわかりやすかったです。
講演内容は半分程度しか理解できなかった。自分がどう動くべきか、今後の展開に力を貸せるのかについて把握できていない。障害者の意思決定支援の方法を聞いて困難だと思った。しかし水島先生の講演で背中を押された気がする。手探りながら本人のための最善の決定において自分の価値観が左右していないか見直したい。
市民後見人について学ぶ機会を得られたことは大事だと思います。
意思決定支援において、本人の願望が影響して実例のような要求をするケースについて考えを深めることができた。
わかりやすい説明だった。今回学んだことを今後の業務に活かし、後見制度が必要な際に活用して頂けるよう助言したいと思う。
意思決定支援を基盤とした支援の大切さと有用性を学べました。制度の今後の方向性がわかり、大変参考になりました。
成年後見制度の現状を含めたさまざまな情報を収集できて、勉強になりました。
わかりやすかったです。
意思決定支援は後見人のみで行うものではなくチームで行わなければならないものだ理解した。後見人がつけばすべて解決するという認識が福祉関係者の間で広まっている気がする。
決定と言う最終段階にのみ目を向けるのではなく、プロセスを重視することを、後見以外の普通の業務でも大切にしたい。
自分の母親のことが、私は自分1人で裁判所にて手続きしました。当時はこのような支援活動がなかった。現在は、講演や説明にあつた、機関も設立されていてよかった。
意思決定支援の面接技法について改めて考える機会になりました。

令和元年度 成年後見制度研修会

4. 市民後見人の活動報告①・②

	回答数	回答率
とてもよかった	68	57.1%
よかった	46	38.7%
よくわからなかった	3	2.5%
わからなかった	0	0.0%
未記入	2	1.7%
計	119	100.0%



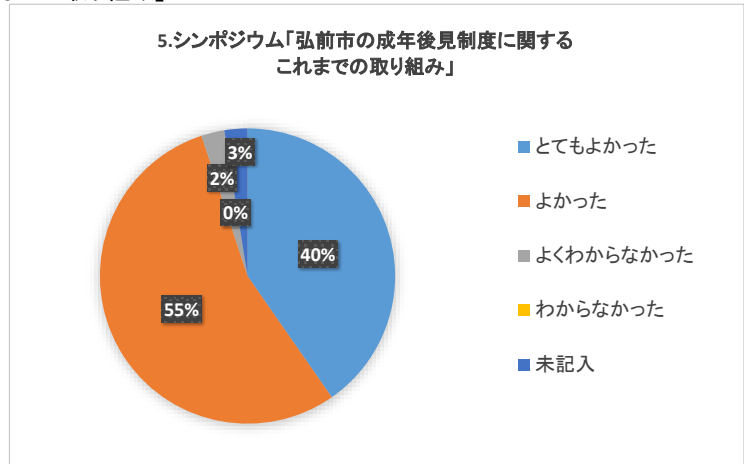
感想・意見等

よかったが、川村氏の活動報告の時間が少し長かった。15分程でよかったと思った。
施設側で成年後見制度について理解していないことに驚きました。後見人の活動には感謝していると思います。どうしたら成年後見制度を幅広く伝えられるのか、疑問です。センター内での連携が素晴らしい。今後の活躍を応援しています。
2人とも、悩みながら活動していることがわかった。本人と地域を支えるシステムの1つとして、市民後見人は大切な資源だと思った。
本人に寄り添った支援が目に見え、感動しました。
リアルな発表はとても興味深く、聴かせていただきました。大変だと思いますが、心のこもった活動はさまざまな面で影響を与えていくと思います。
後見人にもそれぞれの生活があるにもかかわらず続けていて頭が下がります。
大変な仕事をなさっていると思います。とても力強く感じました。
市民後見人の活動を直に聞いてそのイメージがつかえました。とても頼もしく感じました。
一生懸命仕事していることが感じられた。問題を抱え込まないことが大事である。
悩みや制度の問題、現状で対応できる範囲といったさまざまな事情等、いろいろな話を聞いてよかったです。
関わり方、悩み事を親密に聞かれてよかったです。引き続き受けて欲しいと思います。
市民後見人の活動に対する思いがとてもよく伝わりました。市民だからわかる被後見人への寄り添い方があり、それと合わせて大切なものは市民後見人に対するフォロー体制であり、また、職員との信頼関係だと感じました。
異なる2人の後見人活動について聴き、丁寧に活動していると思いました。発表の際に落ち着きや話のメリハリがあり、被後見人も安心できる後見人であると実感しました。
2人とも、被後見人に寄り添おうとして悩み、真摯に対応していることがわかりました。市民後見人の役割は大きいと思いました。
実際に市民後見人として活動されている2人の活動状況やその中の課題、悩み等を聞いて、興味があったので参考になりました。
市民後見人としてしていること、しなければならぬこと、してはならないこと、専門職の後見との差異等を詳しく知りたいです。
実際の活動内容を聞いてよかったです。
報告者の人柄がよく、丁寧にやっていることが伝わった。
非常によくわかりました。
ワンチームという言葉を知り、安心できる活動だと思いました。
実際活動している方のリアルな気持ちや悩みがよくわかりました。そして市民後見人へのフォロー体制についてもよくわかりました。
後見人の方から現場のさまざまな話を聞いて色々考えさせられました。
資料が見やすく理解できます。本当にいつも素晴らしいです。
大変貴重な活動報告を聴けてよかったです。
市民後見人の方が身上監護をどの程度行っているか、買い物や支援しているのかを知りたい。
川村氏、谷口氏両名の発表を聞きまして、非常によくご本人様の支援に取り組んでいらっしゃる様子が窺えました。奥が深い仕事です。今後も頑張ってください。
要請後のサポート体制があるというのは大変心強いと思いました。
事例を発表して下さり、具体的な苦労や仕事の貴重さ、対応の心遣いが垣間見え、弘前市の成年後見制度では個々人に寄り添う歩みができていることがわかり、素晴らしいと思いました。
後見人には本人の死後もさまざまな役割があり、終結に時間が必要だとわかりました。
説明が上手で、市民後見人の気持ちがわかりやすかった。
川村氏、谷口氏の養成研修に参加する姿勢に頭が下がります。とてもわかりやすく聞きやすい発表でした。「正解がない」という後見人の仕事は、私には不安で、頭から「できない」と思っています。
実際の取り組みを聞いて勉強になりました。
興味を持った。
以前より市民後見人の活動について興味があり、とても勉強になりました。健常者の当たり前の視点と福祉専門職の当たり前に温度差があると感じました。改めて自分の価値観や物差しを考え直したいと思いました。
川村氏の最後のスライドにあった言葉がとても胸に残った。
市民後見人がどのようなことをしているか、具体的に知れてよかったです。
実際に活動している方の思考や仕事ぶりを知ることができて大変よかったです。
貴重な事例をお聞きできて大変参考になりました。私自身も共生社会の実現に向け是非養成その他講座を受講したいと思いました。
実際に市民後見人として活動している方の話を聞いて具体的なイメージができました。
後見人がどのように活動されているのか、今後についても前向きに考えられており、素晴らしいと思いました。日々の活動力がよくわかる発表でした。発表お疲れ様でした。ありがとうございました。
活動内容がとてもわかりやすく、どこで悩み、周りのフォローがあるか、どのような体勢を作っていく必要があるか、イメージできました。市民後見人になりたい、勉強したいという人はいるのか、という不安もありましたが、勉強会や広報をしていくことが大事だと思いました。ありがとうございました。
こんなに熱心に活動されている市民後見人の方がいるとわかり、よかった。センターのフォローを聞いて、体制の大切さを感じた。
お疲れ様と思います。事例はとても衝撃的です。話はわかりましたが、後見人になるにはさまざまな知識が必要で、勉強が欠かせないので大変だと思いました。

令和元年度 成年後見制度研修会

5. シンポジウム「弘前市の成年後見制度に関するこれまでの取り組み」

	回答数	回答率
とてもよかった	48	40.3%
よかった	65	54.6%
よくわからなかった	3	2.5%
わからなかった	0	0.0%
未記入	3	2.5%
計	119	100.0%



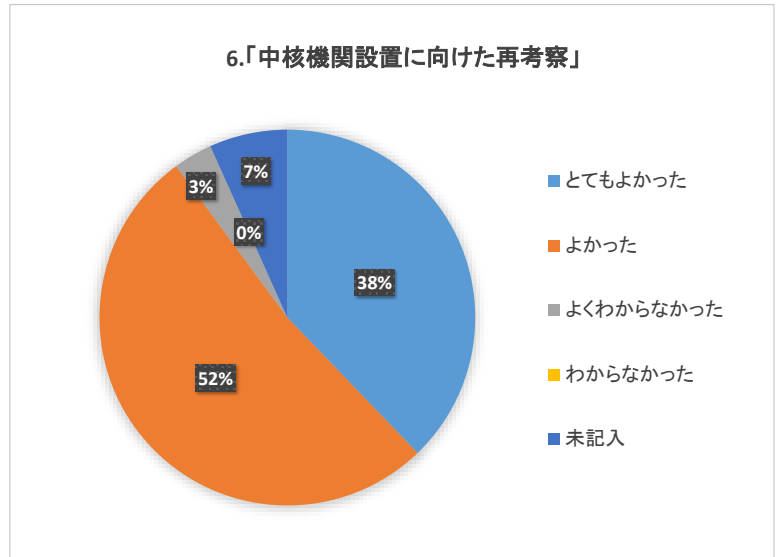
感想・意見等

私は研修会に参加して内容を理解できますが、一般人は知らないと思う。
これまでの取り組みについてよくわかった。
関係の強い組織で取り組んで欲しい。
成年後見支援センターは弘前市で着実に活動して相談件数も増えてきている中で、市民後見人の役割とセンターの関わりはより重要になっていると感じました。
弘前市の現状を知ることができました。市民後見人に興味を持ってました。
当初の小さな活動からここまで築き上げてきた皆様の誠意を尊敬しております。今後の活動に少しでも役立てればと思う日々です。
期待しています。
これまでの取り組みや今後の方針についてわかりました。
担当者の熱心さに感心しました。
話の展開が要点を踏まえていて、いつものように上手な説明だと思った。
弘前市の成年後見制度に関する取り組み等、細かい内容を理解できた。
シンポジウムとしての進行やテーマにおけるやりとりが殆ど行われず、発表の身に留まっていると感じました。もう少し会場を取り込みながらのディスカッションもして頂きたかったです。
具体的な活動を報告されてよかったです。
よく理解できました。
今までの経過と現在の状況がよくわかりました。
制度の取り組みや今後の方向性についての話は、制度について明るくない私にとって、容易く頭に入るものではありませんでした。1人暮らしで決定力の定まっていない状態のケースを担当するケアマネージャーにとっては、個人に対してじっくりと向き合う時間がないという状態であることが正直なところ。後見人の不在で、相談や共有できる時間の有無が変わり、シンポジウムの内容は支援側の押し付けになっていると思いました。
弘前市の成年後見制度の発足から現在に至る経過や実績を初めて知りました。活動が綿々と続いていること、推進事業の例等もあり、本日の冊子をこれからも傍に置いてこの制度を深く知るべく参考にしていきたいです。冊子はとてもわかりやすかったです。
あおい森ねっには世話になった。三上氏や鹿内氏のバイタリティに心強い印象を持った時のことを思い出した。今年藤田氏がアドバイザーの研修に参加し、感銘を受けた。弘前圏域権利擁護支援センターの開設後も応援します。
弘前市の後見制度に関する取り組みや弘前圏域権利擁護支援センターを知りました。
弘前市としてのこれまでの取り組みについては理解できたが、今後の取り組みについてはざっくりとしていてあまり参考にならなかった。
後見業務についての課題等を理解できました。意思決定の重要性や行政の対応についての疑問も日常的に感じる同様な不満はどこにでもあると感じました。
中核機関の働きも重大だと思いました。

令和元年度 成年後見制度研修会

6. 「中核機関設置に向けた再考察」

	回答数	回答率
とてもよかった	45	37.8%
よかった	62	52.1%
よくわからなかった	4	3.4%
わからなかった	0	0.0%
未記入	8	6.7%
計	119	100.0%



感想・意見等

今後の活動を応援しています。
ヒロ口にセンターが開設されることはわかったが、具体的に何をやる場所なのかイメージできない。市民が相談に行ってもよいものか。
研修会の関係内容を多く取り上げて欲しい。
センターが広域化の利点を活かして弘前市モデルになったら素晴らしいと思いました。
後見制度ありきで進めてはいけないという言葉がとても心に残りました。常に何かに頼る前提で対応せず、広い視野でアプローチすることが大切だと感じました。
広域での活動を開始することによって、何かあった時には地域と包括を通じて相談に行きたいと思います。
中核機関としての役割や方針が理解できました。
わかりやすかった。
要点がまとめられていてわかりやすかったです。
成年後見支援センターが中核機関としての中心になって運営していくことになる、という移行だと考えた。チームの一員として、支援センターの役割について理解が難しくなりました。
地域貢献に向けた定着が必要だと思われる。
非常に参考になった。青森市も見習ってほしいと思った。
令和2年度から弘前圏域権利擁護センターが設置されることに期待したいと思います。
専門職としてどのような機関なのか、どのような役割になるのか、わかりました。
色々と忙しく活動されているようですね。
支援者の視点で決めつけて支援を進めてはいけない、と思った。本人の権利擁護での視点を第一に捉えているように気をつけていきたい。
砕いた説明で理解しやすかったです。
弘前権利擁護支援センターがどういったものか具体的な活動がわかるプレゼンでした。応援しています。
権利擁護という多様性の観点で進展させていこうとする体制を中心として尽力されていることに敬意を表する次第です。
中核機関の役割や今後の展開等、わかりやすい説明だったと思います。
中核機関の在り方について大変よく理解できました。サポート側の姿勢として成年後見ありきではよくないという考え方には「なるほど」と思いました。新たな発見です。ありがとうございました。
中核機関の役割について少しイメージできた。ただし研修の内容はあくまでも弘前市の場合であって、自分の地元で実施する場合はどうするか、今あるものを活用すべきか等を具体的に考えていこうと思いました。
もう少し説明を簡略化して欲しい。

令和元年度 成年後見制度研修会

7. 本日の研修会全体を通しての感想・意見等

これまでの「弘前市成年後見支援センターの取り組みや令和2年度からの弘前圏域権利擁護支援センターの運営についてお話を聞いてよかったです。市民後見人のお2人の発表も具体的に理解しやすかったです。
実際成年後見制度や成年後見人についてどれ程知られているのか、不安があるように感じました。これからも勉強を励みたいと思いますので、研修の開催を希望します。
成年後見制度の実情についてさまざまな視点から知ることができて、有意義な時間を過ごせました。
参加者が多くて驚いた。本人と支援者が暮らしやすい地域になるよう連携していけたらと思う。
よい研修会だったので回数を増やして欲しい。
「家族が増えたと思えばいい」という言葉が心に残りました。仕事と市民後見を両立していければよいと思いました。理解のある会社だといのですが、ありがとうございました。参考になりました。
私は弘前圏域以外の場所で仕事しており、今後どのような形で支援を進めていくのか不安です。法人後見もしていない。
後見制度の入り口に立っているという実感があります。内容が深く、驚いています。わからないことがあれば包括等を頼りにするだけでなく、自らも勉強していきたいと思います。
市民後見人の活動発表がとてもよかったです。センターの支援がしっかりとしているのだと思いました。医療の意思決定について、大変役に立つ話だと思いました。
人が関わる仕事なので市民後見人の選任の際、きちんとした人材を選任して欲しいと思います。
市民後見人や成年後見制度というものが近寄りづらいもののように感じていましたが、少し身近に感じられるようになりました。またこのような研修に参加できる機会がありましたら是非参加したく思います。より身近になりたいと思います。
民間レベルで行うので相談しやすく、委任に移しやすいと思いました。相談内容と言葉を難しく捉えてしまい、自分を中心として考えてしまいがちです。探求心を忘れず、相談に乗れたらよいと思いました。
本人の意思を確認することの難しさを感じるとともにチームケアの情報共有が必要だと思いました。
とても勉強になりました。ありがとうございました。
市民後見人の生の声を聞いて、説得力があり、理解を深められた。
後見制度についていろいろと学べました。ありがとうございました。
医療に対しての同意や死後事務等が周知されていないことがたくさんあるので、本人の意思を周囲が支え、尊重することは成年後見人に関わらずケアマネージャー等を含めて分人の周りで支援する人々すべてに言えることだと思います。
そもそも権利擁護なのか制度運用なのかを区別する線引きを知りたい。
駐車場のことを事前に記載してもらいたいです。弘前市の取り組みは素晴らしいと思います。支援をしっかりとできて、安心して活動できていると感じました。
医療同意の部分は悩んでいたのですが水島先生から意見を伺えてよかったです。
全部把握できなかったが、少しでも実践報告を聞いて理解できました。ありがとうございました。
今回初めて研修会に参加させて頂きました。特に印象的だったのは意思決定支援です。本人中心主義、人としての自分らしさという尊重の大切さを改めて学べ、介護福祉士として初心に帰る思いです。グループホームに従事し、昨年は会社での研究発表でパーソンセンターケアを題材にした発表をしました。市民後見人の活動もとても素晴らしいかったです。頭が下がります。自分や家族等、仕事や私生活で私はいっぱい입니다。
参加してよかったです。とても勉強になりました。
本人の意思決定支援が大切だと改めて考えさせられました。
自分は日頃の業務の中で利用者の本当の気持ちを常に引き出しているのか、考えさせられました。ありがとうございました。
意思決定支援は後見人のみならず介護者としても理解しています。いろいろ相談する機会もあり、取り組み方のシステムについてわかり、今日来てよかったですと思います。
市民後見人はどこまで対応してもらえるのか、保証人や身元保証人に対応してもらえるのかについて知りたい。
いつも仕事や研修会に参加すると、同業者や決まった機関の方との関わりが多いのですが、同テーブルの市民の方のお話ができたと、伺えたこともすごくよい機会になりました。ありがとうございました。
後見人制度を地域にどのように拡大していくか考える必要があると思う。
制度について勉強が必要な中、大変ありがたい機会となりました。
後見人の仕事は金銭管理のみであり、治療方針や契約の代行等の雑務はケアマネージャーの領分というイメージがあります。
障害を持つ家族がいるが、最も尊重しなければならないのか、当事者の意思であることを認識できたと思います。家族として本人について深く考えないまま行動していたことが多かったので、反省しています。
医療方法の意思決定についての質問に対する返答は大変勉強になりました。
意思決定支援について考えさせられました。探求の姿勢については、社会福祉士の専門領域でもあると思うので、専門性を高めながらチームの一員として発揮していきたいと思います。市民後見人の方々の話を聞きながら、ただの住民としての感覚を自覚させられました。
市民後見人についてよくわかった。
水島俊彦先生の基調講演がわかりやすく、聞きやすくてよかったです。ありがとうございました。
後期高齢者になった時から、生活がままならなくなる前に対策を決めておかなければならないとは思っていたが、何も準備しないまま月日が過ぎていた折でしたので、今日の研修会で学んだことがとても有り難いものばかりでした。これから自身のこととして考え、すべきことを明確化し、実現していこうと思いました。
新しい情報を聞けたので来てよかったです。
被後見人に必要な契約はするが、文書を見ず非協力的な家族がいる。私はその人に後見制度が必要だと思うが、その家族になかなか伝えられなくて困っている。
私の子どもが発達障害と精神障害を持っており、私が高齢になった際には専門職ではなく市民後見人を希望したい。苦しんでいる本人に、思いの強い方が寄り添うべきだと考えているからである。
とても勉強になりました。ありがとうございました。
内容が濃く、復習が必要です。福祉関係に従事していますが、経験がなく、感心を持って受講できました。また勉強していきたいです。
障害を持つ家族がいるが、最も尊重しなければならないのが当事者の意思だと認識した。家族として、押しつけが多かったことを反省しています。
成年後見制度は感じていましたが、研修を通じて少しでも理解できたと思います。勉強になりました。ありがとうございました。
以前も後見制度の研修に参加させて頂いたことがありますが、数年で状況が変化していくと確認できました。今日の研修から、制度が必要な方へ助言できるよう勉強していきたいです。
現在生活保護のケースワーカーとして現場で仕事していますが本人の意思決定支援ができていくのかというと、できていない部分も多いと感じます。制約のある状況ですが、なるべく本人の権利を保障しながら意思決定や生活支援をしていきたいです。
勉強が必要だとわかった。谷口氏の事例では、施設側が本人の金銭管理を仕切り、役割を他者に任せようという状況に対して、個人での対応は不可能だと感じた。こういった問題には行政が介入すべきだと思う。
支援センターの社会的役割の重要性を痛感させられる研修会でした。持続的な社会のためにはさまざまな研修会に参加できたことを嬉しく思っております。ありがとうございました。
福祉の現場では成年後見制度が何なのかわからない職員がたくさんいます。そういう人向けの研修会もあれば助かります。
成年後見人にはあまり関わらないと思いき、関心がなかったが、今回の研修で、現在は親族よりも第三者の後見人が多いことや市民後見人等、身近なものだとわかりました。まだまだわからないことや難しいことがあったので勉強して後見人研修にも挑戦したいと思いました。
1つずつより掘り下げた研修会が開催されればよいと思いました。まずはさまざまな機関から意思決定支援のガイドラインが出ていますので研修を開催して頂きたいと思っています。弘前市は県内でもだいぶ進んでいるという感想を持ちました。ありがとうございました。新たな発見があり、楽しかったです。
大変参考になりました。水島先生のお話も含めて、さまざまな視点でのお話を聞いてよかったです。
市民後見人が活躍するためにも関係者や機関が後見人の役割や関わり方を知り、共有していくことが大事だと感じられました。入り口で、中核機関や施設等の選択肢を検討しながら対応する必要があると思いました。
シンポジウムと活動報告が特によかった。川村氏が3件も受託されており、感心する次第です。
正直、スライドの文字が小さく感じた。読んでいる場所を示すためにレーザーポインターを使うのはどうか。水島先生の部で相談支援センターの存在はとても有り難く感じた。センターは重要な位置にあり、継続と改善を望みます。